

# 東京都現代俳句協会会報

発行人 今野 龍二  
発行所 東京都現代俳句協会  
〒113-0033 文京区本郷5-3-2-302  
長谷川はるか  
TEL-FAX 03-3814-1228

## 全会員の力を結集して

さらなる前進を！

### 令和8年度定時総会

東京都現代俳句協会は3月14日(土)、

台東区民会館において令和8年度定時総会を開催。44人が参加しました。司会は今野

龍二幹事長が務め、冒頭でこの1年間に亡

くなった会員

に黙祷を捧げ

たあと中内火

星副会長が開

会を宣言。山

本敏倅会長

はあいさつで

「物価高など

の影響が協会

あいさつする山本会長



の運営にもおよんでいる。予算案などを含めてしっかり審議していただきたい。秋の俳句大会は昨年、全国から1200句を超える応募で成功した。全会員の力を結集してさらなる前進をめざそう」と呼びかけました。

続いて松澤雅世常任顧問と現代俳句協会若年部部長の近恵氏がそれぞれ組織の活性化の重要性と会員相互の連携や各自の積極的な参加を呼びかけながらあいさつ。

続いて、伊藤左知子氏を議長に、渡邊すみれ氏を副議長に選出したうえで、以下の5議案が審議されました。

#### 第一議案 令和7年度事業報告

#### 第二議案 令和7年度収支報告

#### 会計監査報告

- 第三議案 令和8年度事業計画案
- 第四議案 令和8年度収支予算案
- 第五議案 役員の変更について

第一議案と第三議案は、長谷川はるか総務部長、第一議案と第四議案は石口榮会計部長、会計監査報告は、今村たかし・青木栄子監査役、第五議案は山本敏倅会長より提案されました。幹事には五十嵐秀山氏が再任、加藤右馬、目俊行の両氏が退任されました。

審議の後、すべての議案が満場の拍手で承認されました。

### 一句持ち寄り句会でヒートアップ

総会後の一句持ち寄り句会は、長谷川はるか副会長の司会で進行。披露を川崎果連広報部長と石口りんご幹事が務め、句会の中では会員で落語家の柳亭市寿さんが「西行が旅先で詠んだ歌を夢の中で添削される」という俳人にとって興味津々の落語「鼓ヶ滝」を披露。プロの芸に会場は感動と笑いの渦に包まれました。

### 【一句持ち寄り句会 結果 数字は順位】

#### ★特別選考員

都区協 山本敏倅会長 特選

風船を離してわれの位置決める

白石 正人

現代俳句協会青年部 近恵部長 特選

風船を離してわれの位置決める

白石 正人

「実の念」桑田真琴代表 特選

ばらいその音楽届き白木蓮

近 恵

都区協 中内火星副会長 特選

身のうちの鍵が外れる朧の夜

松田 圭子

都区協 今野龍一 幹事長 特選

身のうちの鍵が外れる朧の夜

松田 圭子

都区協 瀬藤芳郎副幹事長 特選

タワマンが卒塔婆に見える三月十日

米原 拓土

都区協 松澤雅世常任顧問 特選

風船を離してわれの位置決める

白石 正人

都区協 松田ひろむ顧問 特選

火の影を遊ぶぼくらのしゃぼん玉

川崎 果連

都区協 今村たかし監査役 特選

貝か骨か十五年目の春の海

高橋 透水

都区協 青木栄子監査役 特選

春風と出番を待てり鼓笛隊

見目 千絵

伊藤左知子議長 特選

股のぞき雲に逃げこむ浅蜷かな

暮目 俊行

渡邊すみれ副議長 特選

わで終る女の言葉花ミモザ

今村たかし

柳亭市寿講師 特選

三月やたとえは時効のない痛み

青木 栄子

★順位賞

1 三月やたとえは時効のない痛み

青木 栄子

2 貝か骨か十五年目の春の海

高橋 透水

3 身のうちの鍵が外れる朧の夜

松田 圭子

4 囁りのところどころに痴話暗嘩

石口 榮

5 国ことの墓標の違い鳥帰る

桑田 真琴

6 潮干狩に非ず骨を捜しているところ

今野 龍二

7 風船を離してわれの位置決める

白石 正人

8 我ら春風亡国の只中に

山戸 則江

9 穴を出る蛇と蛙と志

松澤 雅世

10 タワマンが卒塔婆に見える三月十日

米原 拓土



柳亭市寿さん

12 わで終る女の言葉花ミモザ 今村たかし

13 エンディングノート之余白おぼろ月

豊島月舟齋

14 青空へ息するように初蝶来

西本 明未

15 蝌蚪の紐腹に一物こんなにも

長谷川はるか

16 軍靴並ぶ春泥の蚤の市

伊藤左知子

17 落語が始まり落椿が消えた

山本 敏倅

18 はくもくれん母が十九のときだった

松田ひろむ

19 火の影を遊ぶぼくらのしゃぼん玉

川崎 果連

20 束の間の白木蓮のつんつん期

栗原かつ代

## エッセー特集(シリーズ)

# 俳句と私

### ◆釜田 二美

私が小学生だった頃、実家の隣には隠居所と呼ばれていた祖父の家があつて、学校から帰るといつもそこで夕飯の時刻まで過ごすのが楽しかった。その家の郵便受けには祖父の名の下にもう一つ名前が書いてあり、カッコ書きで俳号と記してあつた。居間の座卓の上には「ホトトギス」が置かれていて、幼いながらも祖父のことを「俳句をやっている人」なのだと思つたら認識していた。

祖父は7歳の時に関西地方の親元を離れ、九州の西の端の、叔父にあたる人が住職を務める禅寺に養子に入った。当時はまだ僧侶の妻帯が一般的ではなかったようで、男性ばかりの中で母親の愛情を知らずに育つた。そのせいも、後に得た家族へのふるまひは決して褒められたものではなかったらしいが、私には優しい、大好きな人だった。

趣味人だった祖父は、住職となつてからは書画や茶の湯を嗜み、美しい庭を愛でた。たびた

び句会を開いては、賞品に寺のお宝を大盤振る舞いしていたというから困つたものである。数年前に、当時祖父が使つていた句帳が私の元に届けられた。句帳によれば句会ではいつも高得点なのだが、その句はいかにも住職が詠みそうな内容であり、少なからず句友である皆さんの付度が窺えて笑つてしまつた。ご機嫌な祖父の顔が目につかんだ。

私の性格を家族はことあるごとに「湛堂さん(祖父の名の遺伝)だと言つたが、それが子ども心になんとなく嬉しくて、いつしか祖父と同じようなものを好むようになっていた。私が今こうして俳句の沼にはまっているのは必然なのだろう。いつかあちらの世界で祖父に会えたらいろんな話してみたい。今から少し楽しみでもある。

### ◆坂本 君江

ご近所の奥様と落ち葉掃きなどで時々顔を合わせているうちに親しくなり、つい私の詩集を2冊ほど差し上げてしまった。その彼女のご主人が現代俳句協会の役員だった。後日「詩が書けるなら俳句も書けるのではないか」と言われ俳句のお誘いを受けたのがこの発端である。

詩は書いても書いても誰に評価される訳でもなく、仕方なく自費出版という形でとりあえず

世に出した。それで二応満足はしていたつもりだったが、いざ俳句を始めると楽しいこと楽しいこと。

そんな折、「小林一茶全国俳句大会」に応募した句が特選をいただき表彰式に参加した。自分の作品が誰かに評価されることの喜びをその時初めて知つた。

夫の介護をしながら時々出かけた句会で、稀に特選を頂いた日は本当に嬉しかった。介護漬けの日々も俳句のお陰で気持ちや和らぎ、優しく接することが出来た。

詩やエッセイなど書くことが好きだったのに、なぜ俳句には目が向かなかつたのだろう。もっと柔らか頭の時に…。

人生百年の時代に、70歳でこんなにも楽しい趣味にめぐりあえたことだけでも、幸運だったと感謝すべきなのだろう。介護疲れの、今にも倒れそうな私を支えてくれた、唯一無一の親友だ。

その俳句を通じて次々と友達が増えている。まるで百年の知己のように逢つた瞬間から話が弾む。これぞ趣味のなせる技、俳句の真の力、それ程今は俳句を愛している。

娘曰く、「俳句のある日は目の色が全然違うね〜そんなに楽しいの〜」又、「元気が何より、転ばないように気をつけて行って来てね〜」と

褒められているのか貶されているのか、とにかく喜んではいらぬようだ。

寝たきり人生にならないためにも句会など積極的に参加したいと思っている。俳句という遅咲きの花が果たしてどの様に咲いてくれるやら…。

### ◆米原 拓土

俳句の聖地。西の代表格は「松山市」で異論は無いであらう。古くは正岡子規・高濱虚子・河東碧梧桐・中村草田男を育み、現代では夏井いつき・神野紗希を輩出してゐる。さて、東は吾輩が居住する東京都江東区だと言へば、異論は多いはずだ。水原秋櫻子・星野立子らを生んだ千代田区。黒田杏子・堀田季何の文京区。都内屈指の俳句関連書籍を持つ荒川区。いや、その他からも声が挙がるだらうとは思ふ。しかし、やはり我が江東区なのだよ。

先ず我が家から二駅先には芭蕉記念館がある。蕉翁の寓居跡も目と鼻の先。蕉門の傑物たちが学んだ聖地だ。また、我が町内の氏神には小林一茶が寄宿してゐた。境内には「雀の子」の句碑も残つてゐる。さらに我が家から川を隔てた場所には石田波郷の旧居があつた。隣の寺には「はこべらや」の句碑。波郷の記念館もほど近い。これらはすべて吾輩の散歩コース。庭のやうなものだ。

そんな環境に暮らす吾輩が（退職後という遅い時期ではあつたが）俳句と巡り合つたのも偶然ではないかもしれぬ。初めての句は近くの川沿いに咲く蠟梅を詠んだものであつたし、初めて参加した句会公場は芭蕉記念館であつた。そこで知り合つた句友と、その後「深川俳話会」なる句会を地元で立ち上げることとなるのも、江東区の仕業やもしれぬ。後は拙宅傍に句碑を遺せるやうな句を詠む必要があるが、これはなかなか難しい。

ちなみに、江東区の小学校では一年生から俳句の授業がある。都内では唯一だと言ふ吾輩はそこで学ぶ孫娘と俳句談義ができるのである。どうだ、羨ましいだらう。

### Cブロック吟行

等々力不動尊・等々力溪谷

2月16日

立春を過ぎ梅の花が綻びはじめた2月16日、等々力不動尊・等々力溪谷にてCブロックの吟行会が開催された。吟行地である等々力不動尊は関東三十六不動のひとつにも選ばれている名刹である。敷地内に23区で唯一の溪谷を擁し近隣には古墳が点在するなど、都会の

喧騒を忘れることが出来る貴重な場所である。残念ながら数年前の倒木の影響で令和7年度いっぱいには溪谷沿いの遊歩道の散策が叶わず。当日は等々力不動尊と溪谷の一部、隣接する日本庭園を巡るに留まつた。そんな中でも、それぞれの視点で様々な風景を切り取り素晴らしい作品が出揃つた。玉川区民会館での句会には45名もの参加者が集い満員御礼の賑わいであつた。講話は昨年に引き続き俳句倶楽部「蒐」の代表で角川賞受賞者でもある馬場龍吉氏を講師に迎え、「シユルレアリスムと俳句」をテーマにお話いただいた。絵画における超現実主義と俳句の二物衝撃との共通点など、都区協副会長中内火星氏の句集より抜粋した句を例にあげながら解説いただき、大変興味深い内容であつた。句会終了後は同会場にて懇親会が行われ、ビンゴゲームなどで大いに盛り上がり、参加者の交流を深める良い機会となつた。

### ★特別選者特選句

山本敏倅会長 特選

葉や百年背負ふ荷の重き

暮目 俊行

馬場龍吉講師 特選

金箔は剥がさないでね春の風 石口りんこ

長谷川はるか副会長 特選

渓谷の瞬発力として目白

栗原かつ代

今野龍二幹事長 特選

今村たかし

紅梅をしきりに掃いて嫁がざる馬場

龍吉

瀬藤芳郎副幹事長 特選

加那屋こあ

庭を踏み春風入れて芽吹く芝

鈴木 マヤ

青木栄子監査役 特選

櫻井 了子

立ち入れぬ谷に鶯来ておりぬ

加那屋こあ

今村たかし監査役 特選

磯部 薫子

きさらぎの羽根ほどの陽の重さかな

山田ひかる

石口 榮会計部長 特選

長谷川はるか

佐保姫の右側ばかり微笑んで

榎並 恵那

川崎果連広報部長 特選

遠山 弘美

きさらぎの羽根ほどの陽の重さかな

前田 友彦

ダイゴ鉄哉Bブロック顧問 特選

鳩山 優

男待たせる如月の改札口

松田 圭子

加那屋こあ幹事 特選

坂本 君江

開帳の不動は多分宇宙人

川目 紫

★高得点10句

今野 龍二

1春落葉こつんと骨の音がする

山本 敏倅

2男待たせる如月の改札口

青木 栄子

3きさらぎの羽根ほどの陽の重さかな

釜田 二美

4金箔は剥がさないでね春の風

石口りんご

5 渓谷の瞬発力として目白

栗原かつ代

6 等々力は東京の底水温む

今村たかし

7 立ち入れぬ谷に鶯来ておりぬ

加那屋こあ

8 水温む人待ち顔の稚児大師

石口 榮

9 梅日和聞こえてこない中国語

川崎 果連

10 水底に睡れるものに春ささず

櫻井 了子

★以下順不同

紅梅をしきりに掃いて嫁がざる

馬場 龍吉

錫杖の煩惱穿つ春の泥

磯部 薫子

枯芝に追肥まく音静かなる

山田ひかる

山門や立春大吉大丈夫

吉柳 初美

湧水の青き揺らぎや枝垂梅

宮川 夏

椿落つ瀧の涎や不動滝

関 千世

春よ早くと不動尊の鐘叩きけり

堀 美和子

二九月や谷深くする寒き風

ダイゴ鉄哉

ほつほつと春の息吹の傾斜かな

見目 千絵

樹々の間に動き始める二月の香

西本 明未

立ち入りを拒む古墳や春浅し

白石 正人

水温む零さぬやうにクロワッサン

讃岐 幸江

うららけしとどろきもなく瀬音のみ

瀬藤 芳郎

梅の香やピクピク動く美女の鼻

高橋 透水

陽春のきざしはしおりてのぼって目眩

中内 火星

土に春我が心にもエアレーション

斉藤 洋子

園内の花々の陰馬酔木咲く

田村 廣美

等々力の馬酔木の花にあう視点

渡邊すみれ

勤行の聞けぬ溪谷春の風

五十嵐秀山

等々力の吟行日和梅日和

広田 輝子

開帳の不動は多分宇宙人

今野 龍二

通せんぼされても平気あたたかし

決着をつけて満開源平梅

長谷川はるか

薬や百年背負ふ荷の重き

榎並 恵那

梅の香や五円五円と不動尊

暮目 俊行

春空の常に上書き同じ道

遠山 弘美

渓谷の街の音消える余寒かな

前田 友彦

梅の香が不動明王くすぐって

鳩山 優

一服を賜る書院風光る

松田 圭子

春コートはらりハミング五七五

坂本 君江

稚児大師像の金箔余白あり

川目 紫

梅三分人るべからず注意書き

秋野 晃枝

等々力の古墳やぬつと数椿

佐藤 廣枝

みはるかすみなどみらいや梅ふぶむ

香川 純二

庭を踏み春風入れて芽吹く芝

米原 拓土

(釜田二美・報)

鈴木 マヤ

# 東京都区現代俳句協会

## 令和8年度俳句大会・新入会員歓迎会 作品募集

大会期日 令和8年9月19日(土)午後1時より  
会場 台東区民会館 8F第5会議室

●会員以外の方の投句大歓迎

□応募規定 2句1組・1,000円  
何組でも可・未発表作品に限る  
前書き不可・所定用紙(コピー可)  
またはWebフォームにて投句

投句料 ①ゆうちょ銀行振込 ②定額小為替  
③現金書留 投句と同時に納入  
□送り先 〒113-0022 東京都文京区千駄木3-25-6-301  
仲 綾子 方  
都区協令和8年度俳句大会係

□締切 令和8年4月30日(木) 当日消印有効  
□会費 一句持寄り句会参加費1,000円  
懇親会 調整中

□発表 大会席上および都区協会報  
投句者には作品集進呈

□表彰 現代俳句協会会長賞・都区協会会長賞・  
全国俳誌協会賞・俳句のまちあらかわ賞・台東区あ  
したの俳句賞・秀逸賞・佳作賞  
★応募規定に反した場合は発表後でも入賞を取り消す  
ことがあります。

【Webフォーム】

URL: [https://forms.gle/  
Q7BZBCGJkoz9VCJf7](https://forms.gle/Q7BZBCGJkoz9VCJf7)



こちらのQRコードから  
アクセス出来ます

【ゆうちょ銀行振込】

記号番号: 総合10100-69236991

ナカアヤコ「仲綾子」

他行からの場合: 普通〇一八店 6923699

※振込手数料自己負担

## 令和8年度 東京都区現代俳句協会初心者講座

### 受講者募集

於: 一般社団法人現代俳句協会 本部図書室

前期: 4月〜7月

第2土曜日13時30分〜16時30分 定員18名

講師: 川崎果蓮(現代俳句オープンカレッジ講師)・

2句事前投句 4/11、5/9、6/13、

7/11 申込締切4/1(同時に投句)

後期: 10月〜令和9年1月

第2土曜日13時30分〜16時30分 定員18名

講師: 高橋透水(現代俳句オープンカレッジ講師)・

2句持ち込み 10/10、11/14、12/12、

令和9年1/9 申込締切10/6

受講料: 各期4,000円

申込先: 都区協初心者講座担当 栗原かつ代

現代俳句協会事務所

03-33839181/90(返信いたします)

[https://forms.gle/  
oF73bLo1WdIHq3r6](https://forms.gle/oF73bLo1WdIHq3r6)



こちらのQRコードから  
アクセス出来ます

定員に達した場合は締め  
切らせていただきます。

\*知人友人にお勧めくださいますようお願いいたします。

(一社) 現代俳句協会

東京都千代田区外神田6-15-4 倍楽ビル(外神田)7階

アクセス: JR秋葉原駅・御徒町駅より15分

地下鉄銀座線末広町駅より3分

地下鉄千代田線湯島駅6番出口3分

Tel 03-33839181/90 Fax 03-33839181/91

## 企画部吟行・通信句会のご案内

実施日：令和8年5月13日(水)

吟行場所：増上寺から東京タワー

集 合：増上寺前 午前11時

受付後、一緒に吟行、又は自由吟行

別の日でも大丈夫です。

申込締切：5月12日(火)

会 費：1,000円(通信費 賞品代)

投 句：囑目2句

出句締切：5月19日(火)

参加申込：企画部 宮川 夏宛 葉書またはメール

(※参加者、氏名・住所・電話番号を明記)

住 所：〒165-0033 中野区若宮2-10-11

TEL 0080-3452-2577

メールアドレス：natsuchan82@gmail.com

※今回は集計の都合上、投句・選句は郵便または

メールでお願い申し上げます。

## 東京都現代俳句協会

### 発展基金募集について

当協会の円滑充実した事業活動運営のため、発展基金を募集いたします。

会員各位におかれましては、左記の要領にてご協力賜りますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

一口一〇〇〇円(何口でも結構です)

都区協現代俳句協会会長 山本 敏倅

### 振込番号

001105539619

加入者名 東京都現代俳句協会

\*同封の振替用紙をご使用ください。

\*ネット振込み利用可。

郵便振替払込受領証にて領収書に代えさせていただきます。

基金担当 石口 榮

## 令和八年発展基金寄付者芳名

(二月一日から二月二十八日分まで)

敬称略・順不同

ご支援ご協力を深謝申し上げます。

なお今後もし引き続き募集していきますのでご協力をお願い致します。

十口 三口

山本 敏倅 中村 誓子

西本 明未 一口

菊池ひろこ 山地春眠子

七口

阿部 晶子

五口

石口 榮

石口りんこ

長谷川はるか

大橋 愛子

伊達 公子

川崎 果連

北村眞貴子

第43回高田馬場「冬」句会報  
 令和8年1月6日(火)  
 兼題「初空・初御空」・席題「目」

新年を迎え、28名の方々がご参加くださいました。ありがとうございます。

(高得点句)

- 1 戦争はしない国です初御空 川崎 果連
- 2 目札を交はす中腰初句会 讃岐 幸江
- 3 稜線は初御空への滑走路 高橋 章子
- 4 今日からは目刺いつもの妻がいる 松田ひろむ

- 5 指先に五目並べの石の冷え 菊池ひろこ
- 6 目ん玉の飛び出す価格初鮪 坂本 君江
- 7 餅の花目抜き通りの歯が抜けて 長谷川はるか
- 8 なまはげの目にあるにんげんの義憤 林 ひとみ

- 9 流し目で人を殺める雪女郎 川目 紫

- (以下順不同)
- テントから目だけのぞかせ初景色 山口 紀子
  - 正装の父母待たせ初御空 青木 栄子
  - 初空に丙午とて天馬なり 松澤 雅世

馬の目に映る初富士競馬場  
 目標はハーフマラソン初御空  
 祝金婚一兆円の初御空  
 目の前を風花よぎりそれつきり  
 初空へ女神を乗せた楕円球

いきいきと目線をあげて初暦  
 久女忌や黄身の偏る目玉焼き  
 耳よりな話あるまじ目貼して  
 初御空翼あるもの皆飛んで  
 次の角も迷わず曲る初御空  
 初御空ホームきつての男前  
 オオカミの挫折癒えたか初御空

- 今野 龍二
- 宮川 夏
- 高橋 透水
- 暮目 俊行
- 米原 拓土
- 遠山 弘美
- 安藤 草太
- 上野 英一
- 石口 榮
- 北村真貴子
- 渡邊すみれ
- 白石 正人

高田馬場「夏」句会のご案内

日時 令和8年7月7日(火)  
 12時半 受付開始  
 会場 費用 1,000円  
 JR高田馬場駅前Fビル8階  
 兼題 「巴里祭」  
 席題は当日揭示

句会内容 2句投句・互選6句内1句特選  
 参加申込 見目千絵 (定員34名)  
 TEL 090-4225-0989  
 (シオートメールによるお申込みの際には  
 ご自分の氏名をお書き添えください)

初空や梢に風のゆうらゆら 藤井 圭子  
 初御空孫悟空やれちぎれ雲 柳亭 市寿  
 御降りや赤き結び目夢しとど 見目 千絵  
 (見目千絵 記)

編集後記

今年3月に「世界幸福度報告書2026」が発表され、日本は147カ国中61位だった。昨年は55位。14回目となる今年の報告書では、幸福度ランキングに加え、ソーシャルメディアの利用が若者の幸福度に与える複雑な影響に焦点が当てられた。浮き彫りになったのが、日本の若者とりわけ10代の少女たちにSNSが与えているネガティブな影響。3人に1人が「自分の体型へのコンプレックスを悪化させた」と回答した。他人の投稿を見ると「日常的なSNSの利用が身体的な自己評価に強い悪影響を及ぼしている」という。デマや誹謗中傷が飛び交う昨今、大人は大丈夫なのだろうか……。

広報部・編集室  
 〒135-0016 東京都江東区東陽  
 1-30-8-404 川崎果連方  
 TEL 090-7410-9543  
 メール: karen.kawasaki2016@gmail.com